

静岡県沼津警察署  
交通課

静岡県 沼津警察署

情報開示請求をかけた後に

警察手帳及び身分を証明しないで、酒気帯び検査を行いその内容で呼気から酒が飲んでいない事を証明されているのに、そのまま警察署に護送、されその後、警察署内で緊急逮捕行い弁護士にも取次がなく、翌日、拘置所の職員から事情があつて弁護士に取り次げなかったのに、謝罪はあつたが、その後弁護士を依頼したいと言っていたのに、弁護士にすらとりついで貰えなかった。着替えの時に内海整骨院で首の骨の治療をしていて、特殊なテーピングで外すと首の骨がずれると言つたのに、規則だからと言って無理やりはずすように言われて、首の骨がズれて、痛かつた。そして、途中何かあつたら言つてよと言つたけれども、結局、重要なことを伝えても、弁護士も取りついで貰えず、家族にも白い目で見られ、頭がおかしいとレッテルを貼られて、結果を教えるわけでもなく、日本郵政のかんぽの宿箱根の不正であつたり、各会社においても、あなたの仕事ぶりに問題があつたのではないのかと検察官に言われたり、初め7/19日の朝に両親と話をして、警察か検察が黙秘していたと話聞いたが、実際は黙秘をしていたわけではなく、話をしていたのに、警察か検察にしても嘘の話をして、私から自分達の都合の良い供述調書を記載するために、延々と話をしていた事実が判明しました。

なぜ、この様な事になつたのか、遺憾な事ではありますが、三重県の北署か、警察の保護を求めたら、拘置所に入れられて、警察手帳等の名前、所属階級、番号等を伺つた所、どなたも名前を教えて頂けませんでした。そして、ベルトと財布、メガネを取られて拘置所の中で、目が見えず、とても気持ちが悪かつたです。そして、国選弁護人か弁護士を呼ぶように大声で何度も伝えたにも関わらず、警察署館内に響き渡るほどの大声で言つたにも関わらず、保健所の人間が来て、男性と女性は私服かスーツ姿でしたので、警察官は5-6人以上いたと思われます。無理やり運ばれて行き、振りほどこうと体を動かしましたが、流石に振りほどけませんでした。ハイエースの車に載せられて行き、保健所の職員の方がいきなり足と体のどこか忘れましたが、注射を打たれてそのまま、足が痺れて動けなくなりました。そして、無理やり連れて行かれて水沢病院に入れられました。精神病院と知り頭が真っ白になりました。

検察官はめがねをかけて左手薬指には結婚指輪がはめてあつたので既婚者と推測されます。